[DS50-N1166-00A]

BIOS マニュアル

BIOS セットアップユーティリティとは

BIOS セットアップユーティリティとは、BIOS の設定を確認・変更するためのツールです。
セットアップユーティリティは、本体に内蔵されているマザーボード上のフラッシュメモリーに格納されています。

このユーティリティで定義される設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域に格納されます。
この設定情報は、マザーボードに搭載されているバックアップ電池により保存され、システムの電源をOFF したり、リセットしても消えることはありません。

ONKYO 製パーソナルコンピューターシステム（以下、「システム」と記述）は、出荷時の BIOS 設定で最適動作するように設計されています。お客様自身によって BIOS 設定の変更を行う場合は、あとで現在の設定を参照できるよう、メモなどに記録しておくことを強くお勧めいたします。

システムに接続されている個々のハードウェア構成（外部接続端子への接続を含む）や、
お客様の使用環境によっては本書の表示との差違が生じる場合があります。

BIOS とは

BIOS とは、システムのハードウェアを利用したり、制御するための基本プログラムの一つです。
（BASIC In/Out SYSTEM： ハードウェアと OS の橋渡し的な機能を司る）

搭載されている CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオシステム、チップセットなどの基本動作に関する設定情報を CMOS RAM 領域に保存し、システムが起動するときに前回設定値との内容を比較することで、本体に変化や異常がないかの自己診断を行います。

BIOS が使用する各種設定情報を変更するためのプログラムが、BIOS セットアップユーティリティです。

--- 注意事項 ---

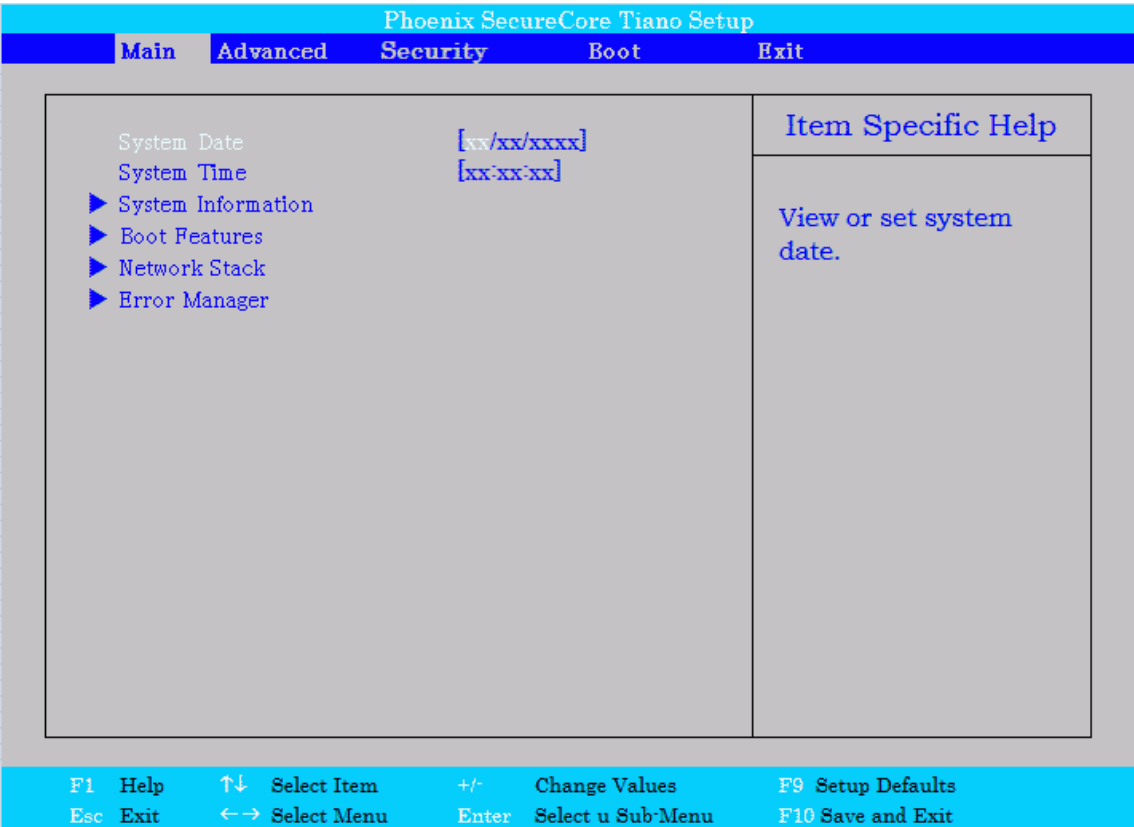
BIOS 設定を間違えますと、システムの深刻なトラブルにつながることがあります。
設定変更される際は充分に御注意いただくとともに、このマニュアルに
記載されている内容をご理解いただけない場合は変更を行わないことを
強くお勧めいたします。

BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合、ならびに、
お客様によって設定されたパスワードの忘失に起因する動作不良につきましては、
保証期間中であっても弊社サービスセンターでの**有償修理**となりますことを
ご了承ください。

基本操作

● BIOS セットアップユーティリティを起動する

1. システムの電源を入れます。
2. ONKYO ロゴ画面が表示されたら、［ F2 ］ キーを押します。
3. **BIOS セットアップユーティリティ**が起動します。（下図参照）

● BIOS セットアップユーティリティを操作する

［ 参考画像 : トップメニュー ］

↑ / ↓	アイテムを選択します。
← / →	メニューを選択します。
ー/+	−/+キーで値を操作します。
F1	ヘルプを表示します。
F9	工場出荷状態の設定を呼び出します。
F10	設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。
ESC	操作中のメニューを終了する または Exit に移動します。
Enter	選択 もしくは サブメニューを表示します。

● 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Exit” タブを選択します。
3. “**Exit Saving Changes**” を選択し、Enter キーを押します。
4. “Save configuration changes and exit now?” と表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
5. BIOS セットアップユーティリティが終了し、再起動します。

※ 2～3 までの作業を、メニューのあらゆる階層から ［ F10 ］ で行うことも可能です。

● BIOS 設定を初期化する（工場出荷状態）

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Exit” タブを選択します。
3. “**Load Setup Defaults**” を選択し、Enter キーを押します。
4. “Load default configuration now?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
5. “**Exit Saving Changes**” を選択し、Enter キーを押します。
6. “Save configuration changes and exit now?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
7. BIOS セットアップユーティリティが終了し、再起動します。

※ 2～3 までの作業を、メニューのあらゆる階層から ［ F9 ］ で行うことも可能です。
※ ［ F9 ］ → ［ Yes ］ → ［ F10 ］ → ［ Yes ］ でも BIOS 設定初期化ができます。

● 変更した設定を破棄し、変更前の状態で保存する　（設定保存前）

1. “Exit” タブを選択します。
2. “**Discard Changes**” を選択し、Enter キーを押します。
3. “Load previous configuration now?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
4. “**Exit Saving Changes**” を選択し、Enter キーを押します。
5. “Save configuration changes and exit now?” が表示されたら、“Yes” を選択し、Enter キーを押します。
6. BIOS セットアップユーティリティが終了し、再起動します。

高度な操作

以下の操作については、システムに深刻なダメージを与えることがあります。
内容を変更する際はご注意いただくとともに、下記内容をご理解いただけない場合は
変更を行わないことを、強くお勧めいたします。
BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合及び、
お客様設定済みパスワードの忘失により起動できなくなった場合は保証対象外
となりますので、弊社サービスセンターでの有償修理となります。

◎ インテル® ラピッドスタートテクノロジーの動作モードを設定する

“Advanced”タブ → “Intel® RapidStartTechnology”メニュー → “**iRST Support**”
“Enabled”にすると iRST 機能が有効になり、下記サブメニューが現れます。

“Entry on S3 RTC wake”
“Enabled”にすると、システムが S3 ステート時に iRST が起動します。

“Entry After”
システムが S3 ステートに入った後、iRST が起動するまでの待機時間を設定します。

“Entry S3 on critical battery event”
“Enabled”にすると、S3 状態でローバッテリーとなったとき iRST を実行します。

“iRST Critical Battery Threshold”
iRST が起動するバッテリー残量閾値を設定します。

◎ Intel® Anti-Theft Technology Configuration を設定する（オプション搭載モデルのみ）

“Advanced”タブ → “ME Configuration”メニュー
「アンチセフト・テクノロジー」（iAT）についての設定を行います。

“Intel® AT”
アンチセフト機能を有効、無効化します。

“Intel® AT Suspend ON:”
サスペンド時のアンチセフト使用可否を設定します

◎パスワードを設定・解除する

システムの起動、BIOS 設定の変更、ストレージへのアクセスについて、パスワードによる制限を行います。

Phoenix SecureCore Tiano Setup

Main　Advanced　**Security**　Boot　Exit

		Item Specific Help
Supervisor Password is:	Cleared	Set or clear the supervisor account's password.
User Password is:	Cleared	
Set Supervisor Password	[Enter]	
Supervisor Hint String	[ ]	
Set User Password	[Enter]	
User Hint String	[ ]	
Min. password length	[1]	
Authenticate User on Boot	[Disabled]	
HDD Password Select	[User Only]	
HDD Security Status		
HDD00 Password State	Cleared	
Set HDD00 User Password	[Enter]	
Trusted Platform Module (TPM)		
TPM Support	[Enabled]	
▶ TPM Configuration		

F1 Help　↑↓ Select Item　+/- Change Values　F9 Setup Defaults
Esc Exit　←→ Select Menu　Enter Select u Sub-Menu　F10 Save and Exit

○ 管理者(SuperVisor)パスワードの設定方法

“Security”タブ → “**Set Supervisor Password**”

にて Enter キーを押してください。

“Enter New Password”が現れたら、

設定したいパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

“Confirm New Password”

にてもう一度同じパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

※ 既にパスワードが設定されているときは“Enter Current Password”が表示されます。

※ パスワードは英数記号(大小文字の区別有)が使用でき、文字数は
“Min. password length”で定義された数が有効となります。

※ “Supervisor Hint String”にはパスワードのヒントを入れることが出来ます。

※ 管理者パスワードが有効になっていると、BIOS 設定メニューがパスワードロックされます。

○ 管理者(Administrator)パスワードの解除方法

“Security”タブ → “**Supervisor Password**”

にて Enter キーを押してください。

“Enter Current Password”に現在のパスワードを入力し、

“Enter New Password” / “Confirm New Password”

には何も入力せず、Enter キーを押してください。

※ “Supervisor Password is:” が [Cleard] になっていれば解除完了です。

※ パスワード設定操作手順は、ユーザーパスワード(User Password)についても同様です。

※ ユーザーパスワードは管理者パスワードが設定されていないと使用できません。

○ パスワードロックの活用方法

“Security” タブ → “**Authenticate User on Boot**”

を、[Enabled] に変更してください。

この操作で、システム起動時のパスワードロックが有効になります。

※ [Disabled] の場合は BIOS 設定メニューのみパスワードロックされます。

※ 管理者パスワードが設定されていないと本項目は有効になりません。

“Security” タブ → “**HDD00 User Password**”

にて Enter キーを押してください。

“Enter New Password” が現れたら、

設定したいパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

“Confirm New Password”

にてもう一度同じパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

※ パスワードは六桁以上の英数記号(大小文字の区別有)が使用できます。

※ 既にパスワードが設定されているときは “Enter Current Password” が表示されます。

この操作で、システム起動時の HDD アクセスパスワードロックが有効になります。

パスワードの忘失について

パスワードを忘失すると、システムの起動ができなくなります。

User Password を忘れた場合は、Administrator Password で BIOS セットアップユーティリティを起動して、User Password を再設定してください。

Administrator Password を忘れた場合は、修理(有償)が必要となります。
無償修理期間であっても有償となりますので、ご注意ください。